

## 第二次佐久市総合計画後期基本計画（素案）に係る市民意見募集（パブリックコメント）に寄せられた意見とその回答

### ・提出意見：10件1名

番号	提出された意見概要	意見に対する回答等
1	<p>○ 計画の説明と進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ多くの方が計画を理解し、質問したり意見を提出できるようにすべきであるにもかかわらず、住民説明会の会場や開始時間の固定化、ウェブでの説明動画の掲載など、限定された人のみがパブリックコメントや住民説明会に参加できる仕組みとなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いただいたご意見を踏まえ、更に多くの市民が参画できる意見聴取方法を検討してまいります。</li> </ul>
2	<p>○ SDGsについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsは、市職員のみならず市民も理解することが重要である。</li> <li>・SDGsで掲げられた社会課題を構造的に把握するには、環境、社会、経済という3階層にSDGsの目標が分類されており、それは同格ではなく、この優先順位であることを理解した上で取り組むべき達成目標であり、人権は全ての目標に関わる。</li> <li>・地球温暖化を含む地球環境問題と格差の問題は、全ての基本である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いただいたご意見を踏まえ、市民に対するSDGsの普及・啓発にも取り組んでまいります。</li> </ul>
3	<p>○ データに基づく分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのようなデータを根拠にするか、どのように分析するかが問題であり、また、同じデータを使用するにしても、平均値、中央値、下位5%、などで分析結果は異なる場合もある。さらに、定量的なデータが取得しにくい事項も存在する。</li> <li>・計画の記載について、それをデータで裏づけるということはほとんど行われていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画という性格上、記載内容が多岐的にわたり、その全てにデータに基づく分析の内容は掲載できておりませんが、総合計画に基づく各種個別計画において、より詳細なデータに基づく分析を明らかにし、各種施策を立案・推進してまいります。</li> </ul>

番号	提出された意見概要	意見に対する回答等
4	<p>○ 少数者への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの大目標である「誰ひとり取り残さない」という記載があるが、どのような人が取り残されやすいかという分析はない。</li> <li>・「貧困」、「ジェンダー平等」、「エネルギー」、「誰でも住み続けられるまち」、「パートナーシップ」、は生活に直結する目標だが、具体的な施策に欠け、少なくとも重要項目にはなっていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少数者への配慮は、各種施策を推進する上で十分配慮してまいります。</li> <li>・総合計画においては、全施策の大きな方向性を示しておりますが、ご指摘の個別具体的な対応は、各種個別計画において、推進してまいります。</li> </ul>
5	<p>○ 計画の基本は土地利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐久市は「土地が空いているから使おう」ということを繰り返してきたし、道路を含めて車中心の考え方を進めてきた。このため、高齢者、障害者、外国人、貧困者などが事実上排除されている。</li> <li>・人が集まる場所が賑わいの拠点にならない。商店街などの活性化には全体の土地利用の根本的な見直しが必要である。</li> <li>・道路の機能に応じた階層的な道路網として計画し直す必要がある。特に幹線道路以外の道路を歩行者・自転車に利用しやすい道路に変えることが、生活の質からもエネルギー消費の点からも必要である。</li> <li>・2025年問題は今後も続き、省エネルギーとCO2削減の点からも自家用車中心の政策を変えねばならない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の土地利用については、第二次佐久市総合計画の基本構想においてその基本方針を定め、土地利用の行政上の指針である第二次国土利用計画（佐久市計画）に基づき、地域の自然的、社会的、経済的及び文化的条件に配慮し、自然環境の保全を図りつつ、健康で文化的な生活環境の確保と調和のとれた持続的発展を目的として、総合的かつ計画的に進めています。</li> <li>・いただいたご意見は、第二次国土利用計画に基づき、持続的発展を目指した土地利用を進めていく上で、参考とさせていただきます。</li> </ul>
6	<p>○ 人口減少</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少対策で重要なのは、若い世代の動向と地域ごとの相違であると思うが、計画で「データに基づく分析」を掲げているのに、それが示されていない。旧望月町と旧臼田町は特に若い世代の減少が大きく、移住先などを含めた分析が必要である。なお、県全体では18歳で転出し20代でもわずかしか戻らないことが明らかになっている。</li> <li>・企業誘致により、その従業員が市内に居住し、消費拡大や子どもの数が増えてこそ人口減少対策と言える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画という性格上、記載内容が多岐にわたりデータに基づく分析の内容を掲載できておりませんが、総合計画に基づく人口減少対策に係る施策の実施に当たっては、個別計画において、より詳細なデータに基づく分析を明らかにし、各種施策を立案・推進してまいります。</li> </ul>

番号	提出された意見概要	意見に対する回答等
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 若い世代が定住しやすい条件を明確にすべきである。</li> <li>・夫婦共にディーセントワークがある。</li> <li>・高校までの教育が保証される。</li> <li>・医療（特に小児科）が充実している。</li> <li>・女性が尊重される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いただいたご意見を踏まえ、若い世代の移住・定住促進に取り組んでまいります。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外国人</li> <li>・外国人（主として日系人、技能実習生）に頼ることは、持続可能ではない。一時的な応援ならともかく、日本人が就業しない職場には外国人も就業しなくなると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国境のボーダレス化が進む中、外国人との共生は今後ますます身近なものとなっていると考えております。本市では、日本人も外国人もともに持続可能な社会を構築していくことが重要と考えております。</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ CO2削減</li> <li>・CO2を削減する様々な施策があるが、最も現実的な施策は太陽光パネルの設置を増やすことである。太陽光パネルの設置は、公共施設を含めCO2削減に効果的であり、地域経済、災害時の強靱化という点でも重要である。</li> <li>・自家用車による移動を減らすことはCO2削減にとって重要であるにもかかわらず、無視されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いただいたご意見を踏まえ、地球温暖化防止対策を実施する上での参考とさせていただきます。</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市民意識</li> <li>・市民一人ひとりが調べる、考える、議論するということが重要であり、型にはまった考え方を押し付ける、多数意見に従わせる、ということを止めるべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の策定に当たっては、可能な限り多くの市民や識見者の皆さんと議論、意見交換を行いながら進めています。今後も、様々な意見に耳を傾けながら施策を推進してまいります。</li> </ul>